

MOUSA2 年間指導計画例(学校やクラスの実態に合った曲を主な教材の中から選択するとよい。)

月	領域(分野)／ 配当時間	題材名	題材のねらい	学習指導要領 内容の指導事項												主な教材	題材の指導内容と学習活動						
				A表現						B鑑賞			音楽を形づくっている要素	内容の取扱い	主な指導内容		主な学習活動						
				歌 唱		器 楽		創 作		鑑 賞													
				ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア						イ	ウ	エ			
芸術科の目標 芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。				科目の目標 音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。				内容 A 表現 表現に関して、次の事項を指導する。 (1) 歌唱 ア 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて理解し、イメージをもって歌うこと。 イ 曲種に応じた発声の特徴と表現上の効果とかかわりを理解し、表現を工夫して歌うこと。 ウ 様々な表現形態による歌唱の特徴と表現上の効果とかかわりを理解し、表現を工夫して歌うこと。 エ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解して歌うこと。 (2) 器楽 ア 曲想を楽曲の背景とかかわらせて理解し、イメージをもって演奏すること。 イ 楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果とかかわりを理解し、表現を工夫して演奏すること。				B 鑑賞 鑑賞に関して、次の事項を指導する。 ア 声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とかかわりを理解して鑑賞すること。 イ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解して鑑賞すること。 ウ 楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴について理解を深めて鑑賞すること。 エ 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解を深めて鑑賞すること。				内容の取扱い (1) 内容のA及びBの指導に当たっては、相互の関連を図るものとする。また、生徒の特性、地域や学校の実態を考慮し、内容のAの(1)、(2)又は(3)のうち一つ以上を選択して扱うことができる。 (2) 内容のBの指導に当たっては、我が国や郷土の伝統音楽を含む多様な音楽文化について理解を深める観点から、適切かつ十分な授業時数を配当するものとする。 (3) 内容の取扱いに当たっては、「音楽1」の3の(2)から(8)までと同様に取り扱うものとする。							
4 5 6 7	表現(歌唱)／4時間	詩の内容を大切にしておう	曲想と歌詞の内容を理解して、イメージをもって歌う。	●	●	●	●									リズム、速度、旋律、強弱	(1) (3)	明日へのマーチ／ハナミズキ／糸／涙そうそう	<ul style="list-style-type: none"> 曲想と歌詞の内容とかかわり リズム、速度、旋律、強弱などの要素の働き 	<ul style="list-style-type: none"> 曲想と歌詞が表す情景や心情とかかわりを理解して歌う 自分なりのイメージをもち、リズム、速度、旋律、強弱などの要素の働きを生かして歌う 			
	表現(歌唱)、鑑賞／8時間	いろいろな国の歌曲を歌おう	歌曲にふさわしい発声法を身に付け、歌詞の内容や言語の特徴などを理解し、イメージをもって歌う。	●	●	●	●						●	●	●	リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成	(1) (3)	Ave Maria／椰子の実／Funiculi-Funicula／Nel cor più non mi sento／Vaghissima sembianza／Die Lotosblume／Après un rêve 鑑賞：美しき水車小屋の娘	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢や身体の使い方、発声法の他、レガートやスタッカートの方法 曲想と歌詞の内容とかかわり リズム、速度、旋律のフレーズ、言語と旋律とかかわりなどを生かした表現 伴奏との調和 	<ul style="list-style-type: none"> 歌曲にふさわしい発声法や、音楽表現に必要なレガートやスタッカートの方法を身に付けて歌う 曲想と歌詞が表す情景や心情とかかわりを理解する 自分なりのイメージをもち、リズム、速度、旋律のフレーズ、言語と旋律とかかわりなどを生かして歌う 旋律と伴奏とかかわりを意識し、独唱にふさわしい表現を追求する 			
	表現(器楽)／8時間	音の響きや表情を感じ取って演奏しよう	リコーダーやギターなどの楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果とかかわりを理解し、イメージをもって演奏する。			●	●	●	●							音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成	(1) (3)	リコーダー：ソナタ／愛のテーマ／スタジオリ・メドレー またはギター：明日へのマーチ／糸／愛のロマンス／Tears In Heaven	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーやギターなどの楽器の音色や奏法の特徴 音色、リズム、速度、旋律などの要素とそれらの働き 他の声部とかかわり 	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の特徴を理解し、いろいろな奏法を身に付けて演奏する 自分なりのイメージをもち、音色、リズム、速度、旋律などの要素とそれらの働きを理解し、表現を工夫して演奏する 他の声部とかかわりを意識して演奏する 			
	鑑賞／6時間	西洋音楽の歴史を理解するとともに、鑑賞の力を高めよう	楽曲の文化的・歴史的背景や楽曲分析などから、楽曲の表現の特徴を理解するとともに、批評活動を通して主体的に鑑賞する。												●	●	●	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成	(3)	西洋音楽の鑑賞 水の戯れ／水に映る影／レクイエム	<ul style="list-style-type: none"> 声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とかかわり 音楽を形づくっている要素の働き 楽曲の文化的・歴史的背景や作曲家による表現の特徴 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な楽曲の鑑賞を通して、声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とかかわりを理解する 音楽を形づくっている要素の働きや楽曲の文化的・歴史的背景、作曲家による表現の特徴などを理解し、言葉や文章を用いて批評活動をする 	
9 10 11 12	表現(歌唱)、鑑賞／8時間	舞台音楽を楽しもう	オペラ、ミュージカル、バレエなどをその背景となる文化や歴史を理解して鑑賞するとともに、その中の声楽曲の歌唱を通して、舞台作品の音楽表現の特徴を理解する。	●	●	●	●							●	●	●	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成	(1) (3)	Parigi, o cara, noi lasceremo／夢やぶれて／Tonight 鑑賞：椿姫／夕鶴／ウエスト・サイド物語／レ・ミゼラブル／くるみ割り人形	<ul style="list-style-type: none"> オペラ、ミュージカル、バレエそれぞれの表現の特徴 物語の情景や登場人物の心情、歌詞の内容と曲想とかかわり 音楽を形づくっている要素の働きと、それらを生かした表現の心情 	<ul style="list-style-type: none"> オペラ、ミュージカル、バレエそれぞれの表現の特徴を理解する 物語の情景や登場人物の心情などが、声や楽器、身振りなどによってどのように表現されているかを理解する 自分なりのイメージをもち、音楽を形づくっている要素の働きを生かしながら登場人物の心情を理解して歌う 		
	表現(歌唱、器楽)、鑑賞／8時間	我が国や郷土の伝統音楽への理解を深めよう	我が国や郷土の伝統音楽の特徴を理解するとともに、歌唱法や奏法の特徴と表現上の効果とかかわりを理解し、表現を工夫する。	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成	(1) (2) (3)	涙そうそう／ていんざぐぬ花／斎太郎節／祭の夢／天平の春／謡にチャレンジ／E-TEN-RAKU 鑑賞：日本の伝統音楽／郷土の伝統芸能	<ul style="list-style-type: none"> 我が国や郷土の伝統音楽における曲種の違いによる特徴 声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とかかわり 和楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果とかかわり 能の謡における発声法や唱法の特徴と表現上の効果とかかわり 	<ul style="list-style-type: none"> 我が国や郷土の伝統音楽における曲種の違いによる特徴を理解する 物語の情景や登場人物の心情などが、声や楽器によってどのように表現されているかを理解して演奏する 和楽器の音色や奏法の特徴を理解し、基本的な奏法を身に付けて演奏する 能の謡における発声法や唱法の特徴を理解して謡う 	
	表現(歌唱、創作)、鑑賞／8時間	音楽を形づくっている要素に注目して創作したり、歌唱表現や鑑賞をしたりして創造力を高めよう	創作活動を、編曲された楽曲の歌唱や即興的な要素の強い楽曲の鑑賞などに関連付けることで、表現の工夫の幅を広げ、創作のさらなる楽しさや喜びを味わう。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成	(1) (3)	ソルフェージュ／創作1・2・3のいずれか／Prelude I／Amazing Grace／Deep River／上を向いて歩こう 鑑賞：ラブソフィー・イン・ブルー	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素の理解、イメージをもって創造的に音楽をつくる工夫 フェイクの工夫や編曲された楽曲の特徴を生かした歌唱表現 即興的な要素のある楽曲の特徴と表現上の効果とかかわり 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を理解し、それらを生かしてイメージをもって創造的に音楽をつくる フェイクの工夫や編曲された楽曲の特徴を理解し、楽曲にふさわしい表現を工夫して歌う 即興的な要素のある楽曲を鑑賞し、楽器の音色やリズムなどの特徴を理解する
	表現(歌唱)、鑑賞／4時間	世界の諸民族の音楽を通して、音楽文化についての理解を深め、自己の音楽観を広げよう	世界の諸民族における声や楽器による音楽や、身振りを伴う音楽の特徴を理解するとともに、表現を工夫する。	●	●	●	●							●	●	●	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成	(1) (3)	ホルディリディア 鑑賞：世界の諸民族の音楽／ラテン・アメリカの音楽	<ul style="list-style-type: none"> 諸民族における声や楽器、身振りなどによる表現の特徴 音楽や芸能を通して見た音楽文化や美意識の違いと共通点 曲想と音楽を形づくっている要素とかかわり、発声法や歌唱法の特徴を生かした歌唱表現 	<ul style="list-style-type: none"> 諸民族における声や楽器、身振りなどによる表現の特徴を理解する 音楽や芸能を通して、それぞれの国や地域の音楽文化や美意識の違いと共通点を理解し、言葉や文章を用いて批評活動をする 音楽を形づくっている要素と表現上の効果とかかわりを理解するとともに、発声法や歌唱法の特徴を生かして歌う 		
1 2 3	表現(歌唱)、鑑賞／6時間	表現を工夫し、独唱や重唱、合唱をしよう	独唱や重唱、合唱という表現形態の学習や鑑賞を通して、各声部の役割を理解するとともに、表現を工夫して歌う喜びを味わう。	●	●	●	●							●	●	●	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成	(1) (3)	早春賦／Sehnsucht nach dem Frühlinge／行こう ふたたび／幼き日のアルバム／アンパンマンのマーチ 鑑賞：鳥の歌／カルミナ・プラーナ	<ul style="list-style-type: none"> 発声や音色、強弱、旋律などの要素の働きを生かした表現 曲想と歌詞の内容とかかわり 他の声部とかかわりや音の重なり、全体の調和 楽曲にふさわしい表現の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽表現に必要な要素を理解し、それらの働きを生かして歌う 曲想と歌詞が表している情景や心情とかかわりを理解する 他の声部とかかわりや音の重なりを理解し、全体の調和を意識した表現を追求したり、楽曲を鑑賞する 自分なりのイメージをもち、楽曲にふさわしい表現を工夫して歌う 		
	表現(歌唱)／3時間	ポピュラー・ソングを歌おう	発声や表現上の効果を理解し、主体的に工夫して歌う喜びを味わう。	●	●	●	●										リズム、速度、旋律、強弱	(1) (3)	So Much In Love／The Long And Winding Road／津軽海峡・冬景色／道	<ul style="list-style-type: none"> 曲想と歌詞の内容とかかわり リズムや速度、旋律、強弱などの要素の働き 	<ul style="list-style-type: none"> 曲想と歌詞が表す情景や心情とかかわりを理解する 自分なりのイメージをもち、リズムや速度、旋律、強弱などの要素の働きを生かして歌う 		
	表現(歌唱、器楽、創作)／7時間	1年間のまとめとして、グループによるアンサンブル・コンサートをしよう	歌唱、器楽、創作の様々な表現形態の中からグループごとに楽曲を選び、音楽表現を主体的に工夫して発表する。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成	(1) (3)	音楽II教科書掲載曲 生徒の作品	<ul style="list-style-type: none"> 声や楽器の組み合わせによる表現上の効果、音楽を形づくっている要素の働き アーティキュレーションなどを生かした楽曲にふさわしい表現の工夫 調和のとれた表現の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 声や楽器の組み合わせによる表現上の効果や、音楽を形づくっている要素の働きを理解して歌ったり演奏したりする 自分なりのイメージをもち、アーティキュレーションなどを生かして楽曲にふさわしい表現を工夫する 他の声部や伴奏とかかわりを理解し、調和のとれた表現を工夫する 		

検討の観点別にみた特色

	観 点	教科書の特徴
範囲	<ul style="list-style-type: none"> ● 取り扱う内容の範囲は、学習指導要領の目標及び内容によっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様なジャンルから精選された教材によって必要な内容が十分に扱われており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。
程度	<ul style="list-style-type: none"> ● 教材は生徒の心身の発達段階や生徒の能力の実態に適応しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 歌唱教材においては、生徒の心情的な発達段階に応じた内容の楽曲が取り上げられている。器楽教材においては、生徒のさまざまな習熟度や学校の実態に応じた内容が取り上げられている。また、鑑賞教材についても生徒の実態に応じた扱いがなされている。
各要素	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習を進めるうえで、「音楽を形づくっている要素」が適切に扱われているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 表現及び鑑賞に共通する指導内容として「音楽を形づくっている要素」に関する学習が示されており、その考え方の具体的なヒントとなる「音楽を鑑賞する際に」が掲載されている。
選択・扱い	<ul style="list-style-type: none"> ● 教材の選択及び扱いは、学習指導を進めるうえで適切であるか。 ● 基礎的・基本的な内容を学習するうえで適切であるか。 ● 説明文やイラスト、写真などは、学習を進めるうえで適切であるか。 ● 生徒が興味・関心を持ち、主体的・創造的な学習活動ができるように工夫されているか。 ● 我が国の音楽や音楽文化に対する配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 幅広く変化に富んだ学習活動を行うことのできる教材が用意されており、生徒が興味・関心をもって意欲的に学習を進めることができるように配慮されている。 ● 教材の内容に関連して、基礎的・基本的な内容を学習できるような参考資料が収録されている。また、ページ間にリンクが張られており、確実に学習活動を進められるよう配慮されている。 ● 教材に出てくる音楽用語の意味やリコーダーの派生音の運指が同一ページに表示されており、学習効率が上がるよう工夫されている。 ● 説明文は平易な文章で書かれており、その配置も工夫されている。 ● イラスト、写真の取り上げ方もアイディアにあふれ、音楽的感覚の育成や知的理解を深められるように配慮されている。 ● 生徒が自ら主体的に学習活動を進められるように、各教材に活動のポイントが示されるなどの工夫がなされている。 ● 創作的な活動においては、生徒の能力に応じて進められるように配慮されている。 ● 鑑賞の活動においては、日本独自の文化の中で育まれてきた音楽を感じ取ることができるよう、器楽の活動については、各学校の実態に応じて取り組めるよう、4種類の和楽器が取り上げられており、音楽的側面からだけでなく、文化的側面からも捉えられるように配慮されている。
組織	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校、中学校における学習内容との系統性、一貫性について配慮されているか。 ● 各学校の実態に応じた学習指導計画を立てられるよう配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校、中学校の義務教育における音楽科の目標の上に立った内容の教科書となっている。 ● 歌い継いでいきたい日本の歌を「心の歌」として小学校、中学校から一貫して取り上げており、日本の歌に対する配慮がなされている。 ● 「学習MAP」や各教材に示された活動のポイントにより、各学校の実態に応じた柔軟な学習指導計画を立てられるように配慮されている。 ● 表現教材と鑑賞教材の関連が図られており、分野を通じた題材を設定しやすいように配慮されている。
配列	<ul style="list-style-type: none"> ● 教材の配列は適切であるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習指導要領の内容に即した教材が配列されている。 ● 表現教材と鑑賞教材の関連が図られており、さらにページ間に張られたリンクによって、理解を深めたり、関連づけたりできるよう、随所に工夫がなされている。
分量	<ul style="list-style-type: none"> ● 教材の分量は適切であるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 豊富な分量が扱われており、各学校や生徒の実態に応じて柔軟な対応ができるように配慮されている。
人権	<ul style="list-style-type: none"> ● 人権教育、国際理解、情報、環境などに配慮されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 全体を通して、人権教育に対して適切な配慮がなされている。また、諸外国の文化に対する理解を深めることができるという点でも配慮がなされている。
体裁	<ul style="list-style-type: none"> ● 全体の体裁は教科書として適切であるか。 ● 印刷、製本などは適切であるか。 ● カラーバリアフリーへの配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● A4変型判で楽譜が見やすく、紙面のレイアウトも統一感があり、教科書として適切なものとなっている。 ● 表紙や扉からも音楽に対するメッセージが感じられる体裁となっている。 ● 全ページにわたって美しいカラー刷りとなっており、楽譜、文字、イラスト、写真など、印刷が鮮明なものとなっている。 ● 製本は長期の使用に十分耐えられる堅牢なものとなっている。 ● 再生紙を使用し、リサイクル可能な表紙加工が施されているなど、環境に十分な配慮がなされている。 ● 全体に区別しやすい配色を用いながら、必要に応じて形状を違えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。